



●平成30年第2回定例会

議会だより

●もくじ

審議された議案と結果……………	P 2
議案の審議……………	P 4
議会改革調査特別委員会報告……………	P 5
経済常任委員会報告……………	P 7
議会の動き……………	P 8
(表紙写真 喜茂別保育所運動会)	

第167号
平成30年9月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会



平成30年第二回定例議会

審議された議案と結果

第二回定例会は、6月8日から11日までの4日間の会期で行われ、冒頭、町長から中山峠森の美術館解体に向けた取り組み、公益社団法人全国防災協会の役員就任、後志総合開発期成会要望、農作物の生育状況の4件の行政報告がありました。

会期中、報告1件、人事案件3件、補正予算など議案8件、選挙1件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

同意 第1号

教育委員会教育長の任命同意

細田 典男さん 字喜茂別1番地の38
任期 平成30年7月1日から
平成33年6月30日目まで

原案同意

同意 第2号

監査委員の選任同意

佐々木 忠さん 字喜茂別163番地の3
任期 平成30年8月1日から
平成34年7月31日まで

原案同意

報告 第1号

平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書

平成29年度予算で平成30年度に繰り越した次の事業の繰越明許費の報告です。

担い手確保・経営強化支援事業

1千5百76万6千円

畑作構造転換事業

5百20万円

報告済

諮問 第1号

人権擁護委員の推薦に係る意見を求める件

藤井 裕さん 字喜茂別1番地の24

任期 平成30年10月1日から

平成33年9月30日まで

適任

議案 第2号

過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

過疎対策事業債を効率的に活用し、次に掲げる事業の推進のため、計画の一部を変更するものです。

1、交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進において、相川橋補修事業、地域情報通信基盤整備事

原案可決

議案 第6号

一般会計補正予算(第2回)

金山地区町有地境界標設置業務委託料64万8千円、財政調整基金積立金3千4百万円、老人福祉センターのポンプ修繕費1百16万5千円、経営体育成支援事業補助金4百26万円、中山峠物産館冷凍庫ユニット交換工事2百25万8千円、ロータリー除雪車の修繕4百万円、住宅リフォーム支援補助金2百10万円など、4千9百85万円を追加し、予算総額は28億6千3百47万3千円となります。

原案可決

議案 第3号

町税条例等の一部改正

地方税法の一部改正により、製造たばこ区分の中に加熱たばこが新たに加えられたこと等により、条例の一部を改正するものです。

原案可決

議案 第7号

国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

国民健康保険システムの改修業務委託など、56万6千円を追加し、予算総額は7千8百78万円となります。

原案可決

議案 第4号

放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の基礎資格等について拡大されたことにより、基準に準じて条例の一部を改正するものです。

原案可決

議案 第8号

工事請負契約の締結

契約の目的 平成30年度施工
中山峠森の美術館解体撤去工事
契約金額 5千1百40万8千円
契約相手方 富田・ニセコ環境特定建設工事共同企業体
契約の方法 指名競争入札

原案可決

議案 第5号

介護保険基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定

広域連合が策定した第6期介護保険事業計画に基づく被保険者保険料の軽減措置期間が満了となったことにより、条例の廃止をするものです。

原案可決

選挙 第1号

後志教育研修センター組合議会議員

指名推薦により小川泰樹議員が後志教育センター組合議会議員に当選しました。

議案の審議要旨

議案第6号

平成30年喜茂別町一般会計補正
予算(第2回)

越後議員

歳入の部分で、固定資産税の課税標準や、標準額の増により当初1千5百、1億5812万円から1千1百63万4千円の増額で計上されているが、増額の主なものは土地、建物あるいは機械で特に税収の大幅な伸びがあったのか、土地評価なのか、建物評価なのか、課税基準の変更3年ごとに見直しとか色々やられていると思うが、1千1百万円伸びた部分はどの部分か。

酒井税務室長

大型償却資産と言われる北海道知事配分である北海道電力分の送電線及びそれらに係る機械、構築物等の増額によるものである。

議案第8号

工事請負契約の締結について

越後議員

契約相手方が富田・ニセコ環境特定建設工事共同企業体となっているが、この構成は開示できるのか。

林総務課長

富田・ニセコ環境の2社の構成になっている。
出資比率は富田工務店が70%、ニセコ環境株式会社は30%の比率構成となっている。

議会改革調査特別委員会(審議要旨) 6月8日開催

①議員定数について

堀委員

選挙があったのは約8年前で、前は選挙がなかった。
8年前から人口が3百人ぐらいい減っているのに、定数がそのままでもいいのかと思う。
次の任期中には、もしかしたら人口が2千人台になるかもしれない。

庁舎建替えもまだ、検討していない状況の中で、建替えのために積み立てをすべきである、という意見をした議員もいた。
そういう基金を貯めていく気持ちがあるのであれば、議員自ら定数を1減して、報酬を貯めていくような気持ちがあってもいいのではないかと思うので、1減でいきたいと思う。

戸井委員

1減して、委員会構成で対応するのがベストではないかと思う。委員会活動を活発にするた

めには、委員会構成を2つではなく、一つにして精力的にやれば補えると思う。

本町は議長が委員会から除かれるという形だが、議長を除かず委員会活動をしている他の議会もあるので、そういうことも参考にしながら、対応してはどうかと思う。

松橋委員

全体的な町民数の減少もあり、これを機に8人に減になった場合、常任委員会にしても2つを1つにしたほうが効率がいいと思う。
9から8になっても問題がないと思う。

菊地委員長

議会議員は少なくなればなるだけ、財政的にはメリットがでるような活動の分野において減じる弊害が非常に大きい。
議会議員というものはどういう内容の活動をどう展開して住



経済常任委員会 所管事務調査

定例議会は
3月・6月・9月・12月の年4回です。

次の定例会は、9月の下旬を予定しております。
町民の方の傍聴をお待ちしております。

※日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217) で確認ください。

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。

民に理解していただけるかが一番重要であると思っっているので、これ以上人数を減らすと議会活動の弊害が起きてしまうと考えており、議員定数はこのままでいくべきだと思う。

ただし、定数が足りない状況の場合にはについては当然、次の選挙からは定数減ということ考えなければならぬ。

日下委員

人口が減るのであれば、議員定数を減らすべきではないかというのも、一つの考え方はあると思うが、民主主義の観点から言うと、人口が半分になったら議員が3人、4人でいいのか。議会の機能は、執行者としては凄く大きな権限を持っているものなので、多彩な意見を反映して議論してチェックするという部分から言うと、3人、4人の議会が果たしているのかということがある。

単純に人口が減るから議員定数を減らすという議論じゃなく

て、財政のこともあるが、最低限のチェック機能を果たすための定数とは何人かということも踏まえた上で考えたいと思っている。

議長として、他の議会の議長と意見交換をする場があるが、だいたい議長は拙速に定数を削減すべきではない、という意見である。

選挙に出ない人が続くのであれば、それは現実に合わせて仕方ないと思うが、前回1回だけの無投票をとらえて直ちに8人に減らすのは疑問に思っている。現状でもう4年間きちつと見る、そして、しっかりと人口が少ない中で、議会がチェック機能を果たすための議員定数のありかたを、もう一度4年間かけて考えるべきかと思っっている。現状維持がいい。

菊地委員長

9月にこの結論を出すので、めいめいは採決に応じるような考えで臨んでほしい。

②本会議における質疑等に関する運用について

菊地委員長

議案を配られた時点で、総務常任委員会や経済常任委員会であらかじめ、その案件のあらわらのことを聞き出し、議案に臨む前に知識を得るといふやりかたはあるが、いきなり議案が配られて本会議で上程説明を受けた時は、一人3回の質問では到底できない。

その場合は、議員として動議を提出し議案審査特別委員会の設置要求をすることができ、審査特別委員会の中で議論をやる形も可能ですので、いずれにしてもそういう形をとりながら本会議の質問回数を3回にしていく、ということに戻したい。

③議会と各団体との意見交換について

館内委員

農業関係者や青年部など若い人たち、婦人団体連絡協議会等の団体と意見を交わしたほうがいいと思う。

松橋委員

色々な団体が町内にあり、町に求めていくものが出てくると思うので、情報収集ができればいいと思う。

越後委員

農政活動を重点的にやっている喜茂別町農民連盟という組織を呼んで意見を聞きたいという場面が出るのかも含めて包括的に検討してほしい。

菊地委員長

福祉関係や女性団体についても商工会があるのだから農業関係も良いのではないかといい意見もあるので、9月頃までに意見を出していただき、まとめた。

④議会でのタブレット機器の使用について

堀委員

現状の規則では、タブレットを議場に持ち込められないが、持ち込められるような改革を検討してもらいたい。

日下委員

会議規則上は持ち込み禁止だが、持ち込むのを許可するのでなくてルールを決めないダメだと思ふ。

松橋委員

単純にやるやらないは別として、タブレット化すると紙がいなくなる。

やるにしても、紙になれている人とタブレットの両方を用意しなければならぬが、差し替えてもネットがつながっていればすぐに変えられる。

資料も全部の辞書からなにもかも入るので、タブレット一個で済むという利点が一番大きいと思う。

最初は紙で貰っているもので、自分の質問内容は付せんを貼っ

経済常任委員会 所管事務調査報告 7月18日開催

有害鳥獣対策状況について

本件については、担当課の大元産業課長から、現在までの経過と捕獲数の説明を受けた。

現在までの有害鳥獣は、カラス・鹿・熊であったが、アライグマの出没が増加したことから町内における被害防止対策のため、平成22年度に町をはじめ関係機関・団体より「喜茂別町鳥獣被害防止対策協議会」を設置し、被害の発生状況の把握、駆除、連絡調査等にあたっている。

平成29年度の捕獲実績としては「アライグマ154頭」「エゾ鹿70頭」「熊2頭」で、特にエゾ鹿の捕獲数は前年度と比較し3倍となっている。

現在、増加傾向にあるアライグマの捕獲用の箱なわについては、管理を行っているが、今後、不足が生じた場合は予算を検討するとの説明を受けた。

中山峠地熱エネルギーの状況について

4月25日開催の臨時会で行政報告があった、中山峠地域における地熱の試験掘削と資源を利用した地域おこし事業の関係について、「町おこしエネルギー株式会社」の代表者である沼田昭二氏より説明を受けた。

説明の中で、中山峠地域における地熱の出る可能性は30%程度と見込んでおり、地形的には、かなり高い確率が見込めると考えている。

試験的に掘って見なければ分からないが、試験掘削に町の協力をお願いしたい。また、熱源が確保できたら色々な分野に活用できるので、地域振興に協力ができると考えている。

現在、道内や国内でも具体的な各種の事業を展開している。

経済常任委員会としては、今後の具体的な状況が分かり次第、説明を受けていくことにした。

湧水の利活用を目的とした企業進出の状況について

4月25日開催の臨時会で行政報告があった尻別地区の湧水の利活用を目的とした企業進出の関係については、担当課の秋山建設課長から説明を受けた。

本件については、江別市でウォーターサーバーレンタル及び天然水の販売を行っている、株式会社コムサプライが事業拡張のため、ミネラルウォーター充填プラントの整備に向け、現在、本町で簡易水道として取水している湧水の水質検査流量調査を行っている。

昨年11月に行った水質検査の結果報告では、2地点いずれにおいても水質基準に適合しており、今後における事業展開の可能性について調査検討をしている段階である。

経済常任委員会としては、具体的な計画が会社側から示された後に調査することにした。

観光施設「郷の駅」の運営状況について

「郷の駅」の運営している株式会社グリーンロードの中井社長から経営内容等の報告を受けた。

報告の中で中井社長から、開業から8年が経過し、現在の経営状況は、何とか安定をしているのではないかと考えているが、今後の考えとしては、会社を設立して10年が経つので、一区切りとして、事業継続については、現状と違う考えも視野に入れていっているので、わたしの考えや思いと言ふものを、町や議会の方へお願いできればと思っていると言ふ説明を受けた。



喜茂別小学校運動会 玉入れ



郷の駅

議会の動き

平成30年3月8日～平成30年6月4日

3月

- 8日～13日 第1回定例会 全議員出席
- 15日 喜茂別中学校卒業式 各議員出席
- 17日 喜茂別小学校卒業式 各議員出席
- 24日 喜茂別小学校卒業式 各議員出席
- 24日 保育所卒園式 各議員出席
- 2日 保育所入所式 各議員出席
- 3日 交通安全推進委員会定期総会 各議員出席
- 5日 喜茂別小学校入学式 各議員出席
- 5日 喜茂別小学校入学式 各議員出席
- 5日 喜茂別中学校入学式 各議員出席

4月

- 5日 喜茂別出身者の会観桜会 (札幌市) 議長出席
- 8日 後志総合開発期成会定期総会 (倶知安町) 議長出席
- 15日 喜茂別町商工会通常総会 議長出席
- 16日 広報編集委員会 編集委員出席
- 20日 喜茂別消防春季消防演習 議長出席

5月

- 22日 後志総合開発期成会小樽・後志要望 (小樽市) 議長出席
- 22日 北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会総会 (小樽市) 議長出席
- 25日 北海道横断自動車黒松内・小樽間建設促進期成会 (小樽市) 議長出席
- 25日 後志総合開発期成会北海道要望 (札幌市) 議長出席
- 31日～1日 後志総合開発期成会中央要望 (東京都) 議長出席
- 2日 喜茂別中学校陸上競技大会 各議員出席
- 4日 議会運営委員会 全委員出席

6月

- 2日 喜茂別中学校陸上競技大会 各議員出席
- 4日 議会運営委員会 全委員出席

編集後記



今年の夏は、世界各地で異常な猛暑と言われておりますが、本町も30℃を超える日が、近年よりも多かった年のように思われます。

さて、平成としての最後の夏も終わりを告げ、来年の5月からは新元号に切り替わり、新しい時代が始まります。

来年4月には、統一地方選挙も行われることから、残された期間、議会改革調査特別委員会で次の議会議員の定数や報酬等といった課題を検討していくこととなります。定数の件では、現状維持の案と1減の案で割れているような現状です。どちらにしても、9月定例会後には方向性を決めることになると思います。

人口減少や前回無投票に終わったこと等、なり手不足の問題もあると思いますが、それぞれの議員が意見を出し合って本町の未来の為に考えていきたいと思っております。厳しい残暑も予想されます。体調管理には十分お気を付けてください。

広報委員長 堀 浩和